

子どもが悩みを話せる関係をつくりましょう

子どもがSOSを出しやすい

子どものSOSをキャッチしやすい

いじめの背景には、子ども達が抱える様々なストレスが関係していると言われます。人間関係や成績、部活、進路、自分自身についての悩みなど、緊張やストレスの中にいる子ども達です。家庭は、外での緊張やストレスを解き放ち、心をいやす場所にしましょう。

①「大事にされている」という安心感を与えましょう

- ・子どもと過ごす時間をつくり、コミュニケーションを増やす。
- ・いつも「ありがとう」と伝えたり、良いところを積極的にほめたりする。



家庭に
心の居場所を
つくりましょう!

②「あなたはあなたのままでいい」というメッセージを送りましょう

- ・わが子の個性を理解し、人と比べず、今できていることを認める。
- ・「あなたが大切」「あなたの味方だ」という親の思いを伝える。



③子どもの意思を尊重しましょう

子どもから大人へと変化する思春期は、「自立したい」と「頼りたい」という相反する気持ちに揺れ動く時期です。子どもを信じて成長を見守りましょう。

- ・親の意見を押しつけず、子どもの話を聞き、自分で決めさせる。
- ・手を出しすぎず見守り、困っていたら、まず、どうしてほしいか聞く。

④大人が手本となる態度を見せましょう

- ・風評被害などを差別せず、思いやりの姿を見る。
- ・子どもの前で人を悪く言ったり、体罰をしたりしない。



信頼して
適度な距離を
保ちましょう!



心配なことは
一人で悩まず相談しましょう



大人の笑顔が
子どもの笑顔をつくります!

子どもが安心して過ごすには、大人の気持ちに余裕があることが大切です。不安なことがあれば、まず学校に相談してください。次の相談窓口でも、丁寧にお話をうかがいます。どうぞご相談ください。

関係機関名(相談窓口名)	電話番号	利用時間帯
福井県教育総合研究所教育相談センター [24時間子供SOSダイヤル]	0776-51-0511 [0120-0-78310]	365日 24時間受付可
福井県嶺南教育事務所教育相談室	0770-56-1310	月～金 8:30～17:15
福井県総合福祉相談所	0776-24-3654	365日 24時間受付可
福井少年サポートセンター [福井県警察本部ヤングテレホン]	0120-783-214	月～金 8:30～17:15
福井地方法務局 [子供の人権110番]	0120-007-110	月～金 8:30～17:15

STOP!

いじめ

いじめは、すべての子どもが被害者にも加害者にもなるおそれがあり、深刻な事態に発展する場合もあります。子どもたちが安心して生活できる環境をつくるために、家庭が地域・学校・関係機関と連携して、以下の2つを実行していきましょう。

いじめられている
子どものSOSを
見逃さず早期発見
に努めましょう。

いじめは絶対に
許されない行為で
あることを子どもに
教えましょう。

令和2年度

福井県いじめ問題対策連絡協議会
福井県教育委員会

いじめを正しく理解していますか？

「いじめ」とは

当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な行為（インターネットを通じて行われるものも含む）を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。（「いじめ防止対策推進法」より）

いじめの種類	具体例
冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	・あだ名、悪口を言われる ・はやしたてられる ・「きもい」「うざい」「死ね」「殺す」などの言葉を言われる
仲間はずれ、集団による無視をされる	・遊びや活動の際、仲間に入れてもらえない ・わざと会話をしてもらえない ・席を離されたり、近くを通るときに避けられたりする
軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする	・遊びと称して叩かれたり、蹴られたりする ・わざと体をぶつけられる ・通行中に足をかけられ、転ばされる
ひどくぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりする	・叩かれたり、蹴られたりすることが繰り返される ・プロレスごっこと称して、暴力をふるわれる ・罰ゲームと称して、暴力をふるわれる
金品をたかられる	・脅されて物品や金銭を要求される ・おごれと強要される ・物品の交換を強要される
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	・お金や持ち物を盗まれる ・持ち物を隠されたり、壊されたりする ・持ち物をゴミ箱等に捨てられる
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをさせられる	・机や壁に誹謗中傷を書かれる ・人前で服を脱がされる ・嘘を言いふらされる ・脅かされて万引き等をさせられる
パソコンや携帯電話・スマートフォン等で誹謗中傷や嫌なことをされる	・SNS (LINE、ツイッターなど) 等に誹謗中傷を書かれたり、許可なく画像や動画を掲載されたりする ・いたずらや脅しのメールを送られる ・SNSのグループからわざと外される

ネットいじめを防ぐためのチェックポイント

- 必ずフィルタリングを設定する。（犯罪被害にあった子どもの9割がフィルタリングをしていません。）
- 子どもと一緒に家庭内のルールを決め、決めたことは親子で守る。定期的に見直す。

ネットいじめの特徴

文部科学省「ネット上のいじめに関する対応マニュアル・事例集」を参考に作成



言葉の勘違いからトラブルに。あっという間に仲間はずれになる。



絶え間なく悪口が書き込まれるため、被害が短期間で深刻になる。家にいても心が休まらない。



無断で個人情報をばらまかれたり、加工されたりして、個人攻撃に発展することがある。



大人がいじめの実態を把握することが難しい。見えにくいいじめが発生する。

子どもの小さな変化に目を向けましょう

いじめにあっている？

心配をかけたくないなどの思いから誰にも相談しないことがあります。

表情

- 表情が暗く、あまり話をしなくなる。
- 落ち着きがなく、おどおどしている。
- 食欲や元気がない。



言動

- 学校や友達の話題が減る。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。
- 勉強しなくなる。集中力がない。
- 朝になると不調を訴え、学校を休みたがる。
- 物やお金を無断で持ち出す。

友達

- 友達と遊ばなくなり、遊びに行かなくなる。
- 友達関係に変化が見られる。

服装・持ち物

- 衣服の汚れや破れがある。
- お金の使い方が荒くなる。
- 持ち物が壊れたり、落書きがあつたりする。

いじめをしている？

いじめをする背景には、寂しさや自信のなさなど、様々な要因があります。

表情

- 人をにらむような目つきになる。
- 人の目を気にする。
- ため息が多くなる。



言動

- 言葉づかいが荒くなる。
- 学校や友達の話をしなくなる。
- 家族に反抗的な態度が増える。
- ささいなことでイライラしたり、物にあたったりする。

友達

- 友達に対して命令口調になっている。
- 人のことをばかにする。

服装・持ち物

- 買い与えていない物を持っている。
- 与えた以上のお金を持っている。
- 遊びや服装が派手になる。



どんな小さなことでも、気がついたら、子どもの気持ちに寄りそって話を聞きましょう。打ち明けた勇気を認め、子ども自身がどうしたいのかを尊重しながら、解決について一緒に考えましょう。

気になることがあれば、ささいなことでも学校・関係機関に相談しましょう。心のケアを丁寧に行いながら、子どもの成長を見守っていきましょう。